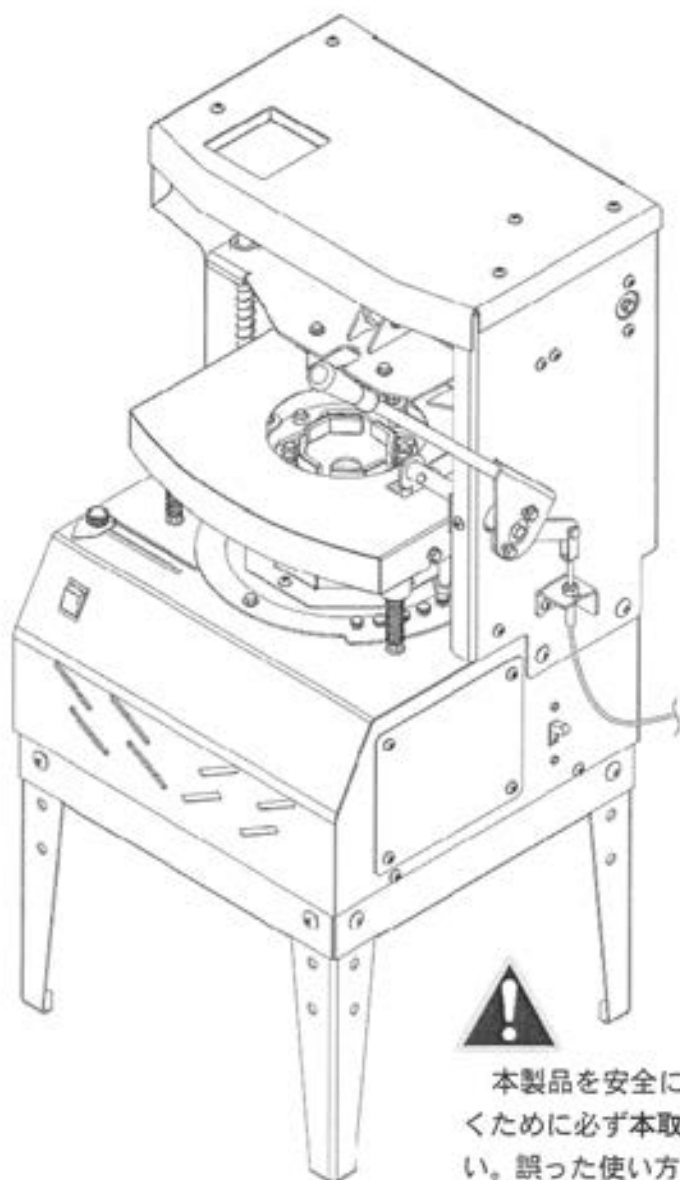


Sasaki

取扱説明書




本製品を安全に、また正しくお使いいただくために必ず本取扱説明書をお読みください。誤った使い方をすると事故を引き起こすおそれがあります。ご使用前に必ずお読みください。お読みになった後も必ず製品の近くに保管してください。

安全作業で家族も笑顔

商品をお買い上げいただき

誠にありがとうございます。

はじめに

- ◎ この取扱説明書は、ニンニク根すり機(以下本機)の使用注意事項について記載しております。ご使用前には、必ずこの取扱説明書を熟読するまでお読みのうえ、正しくお取り扱いいただき、最良の状態でお使いください。
- ◎ 本機はニンニク根すり機です。その他の目的に使用しないでください。
- ◎ お読みになったら後は必ず製品に近接して保管してください。
- ◎ 本機を貸与又は譲渡された場合は、この取扱説明書を商品に添付してお渡してください。
- ◎ この取扱説明書を紛失又は損傷された場合は、速やかに当社の特約店・販売店または JA にご注文ください。
- ◎ なお、品質・性能向上あるいは安全上、使用部品の変更を行うことがあります。
- ◎ その際には、本書の内容及び写真・イラストなどの一部が、本機と一致しない場合がありますので、ご了承ください。
- ◎ ご不明なことやお気付きの点がございましたら、お買い上げいただきましたお店、又はお近くの特約店・販売店・JA にご相談ください。
- ◎  印付きの下記のマークは、安全上特に重要な項目ですので、必ずお守りください。

危険

この警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを意味します。

警告

この警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを意味します。

注意

この警告文に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを意味します。

- ◎この取扱説明書には安全に作業していただくために、安全上のポイント「安全に作業するために」を記載してあります。ご使用前に必ずお読みください。

目次

▲安全に作業をするために	3
サービスと保証について	5
各部の名称	6
付属部品名	8
組立方法	9
スタンドの取り付けと高さ調整	10
ワイヤーブラケットの取り付け	11
レバーの取り付け	12
安全銘板の貼り付け位置	13
適用・適用外ニンニクについて	14
ニンニク根すり機を安全に長持ちさせるには	15
毎日の始動前点検	15
使用後の清掃	15
長期格納時の手入れ	16
定期点検項目	17
点検・整備方法と確認箇所	18
作業前の準備	19
作業手順	20
①根すり作業	20
②サーマルプロテクション作動と停止後の再始動	22
刃物の脱着	23
③-1 刃物を外す	23
③-2 刃物を取付ける	24
③-3 刃物を外す(別方法)	25
④付属部品(小型押え)の交換方法	27
刃物研磨後の削り深さの調整について	28
消耗部品について	29
故障の原因と処置	30
主要諸元	31
標準付属品	32



安全に作業をするために

使用前に必ずお読みください

◎安全に作業をするために、守っていただきたい注意項目の抜粋は以下のとおりです。
これ以外にも本文の中では、説明のつど取り上げています。



警告 作業の開始時に必ず点検作業をしてください。

- ・必ず作業前の点検をおこない異常箇所は直ぐに整備をしてください。
- ・作業終了後も各動作部の点検を行ってください。
- ・本機に異常な振動・音・においがあるときは即座に作業を停止し、お買い上げいただいた販売店等に点検や整備をご相談してください。

【守らないと】

点検をおこたると作業中の思わぬ事故・故障につながります。



警告 体と作業に合った服装で安全作業をしてください。

- ・体に合った服装で滑りにくい安全靴等、作業に適正な保護具を必ず着用してください。
- ・軍手等を使用する場合、回転部に巻き込まれる危険性があるので、使用しないでください。



警告 健康な体で快適に安全作業をしてください。

- ・過労や飲酒時・薬物を服用しての作業しないでください。
思わぬ事故につながります。



警告 人に貸すときにはよく説明をしてください。

- ・機械を貸すときは取扱方法をよく説明し、取扱説明書を熟読するよう指導してください。
また、この『取扱説明書』を機械に添えて、貸してください。
- ・子供や正しい操作方法を知らない人には操作をさせないでください。



警告 カバーは必ずつけましょう

回転部などのカバー類は、はずしたままにしないでください。

必ずもとの位置に装着してから使用してください。

【守らないと】

はずしたまま、作業を行うと衣類などが巻き込まれてケガをすることがあります。



注意 説明書をよく読んで安全作業をしてください。

作業の前に必ず、この『取扱説明書』をよく読んで、十分に理解した上で作業してください。

⚠ 危険 湿気が多い場所や雨水にかかる場所に設置しないでください。

- ・本製品は、完全防水仕様ではないので、水にぬれると漏電することがあります。
設置する際には、水にぬれない場所に設置してください。

【守らないと】

感電や漏電が発生する

⚠ 危険 家庭用 100V 用コンセントに接続してください。

- ・本製品は、単相 100V のみの対応品です。
単相用のコンセント以外には接続しないでください。

【守らないと】

発火・製品部品の故障・漏電等の原因になります。

⚠ 警告 刃物回転中は決して回転部に触れたり、覗き込んだりしないでください。

- ・刃物回転中に回転部に触れると、刃物によりケガや巻き込まれによる事故が発生します。
回転が確実に停止したことを確認してから、電源プラグをコンセントから外して、保護具を使用して触るようにしてください。
- ・作業中に回転部を覗き込むと、削ったゴミ等が勢いよく飛び出す可能性があります。

【守らないと】

ケガや失明の原因になります。

⚠ 注意 電源ケーブル・配線コードの定期点検をしてください。

ケーブル・配線の点検は定期的に行い、腐食、ひび割れ等を起こしていないかの確認してください。

【守らないと】

感電、発熱、発火等の危険があります。

⚠ 注意 モータの周囲に可燃物を置かないでください。

正常な運転状態であっても、モータの表面温度が 70℃ を超えることがあります。
そのため、可燃物等をモータの近くに置かないでください。

【守らないと】

火災・やけどの原因になります。

⚠ 注意 機械は改造禁止です

純正部品や指定部品以外は使わないでください。
各部を改造しないでください。

【守らないと】

機能不良となり、人身事故をおこすことがあります。

サービスと保証について

この製品には、保証書が添付してありますので、ご使用前によくご覧ください。

● ご相談窓口

ご使用中の故障や、ご不審な点及びサービスについての、ご用命は、お買い上げいただいた販売店等へご相談ください。

その際、次の事をご連絡ください。

- ① 型式名
- ② シリアル番号
- ③ 不具合状況 (どのような現象ですか?)
- ④ ご使用状況 (どのくらい作業をしていましたか?)
- ⑤ 不具合が発生したときの状況 (どのような作業をしていた時に?)





◆ 補修部品の供給年限について

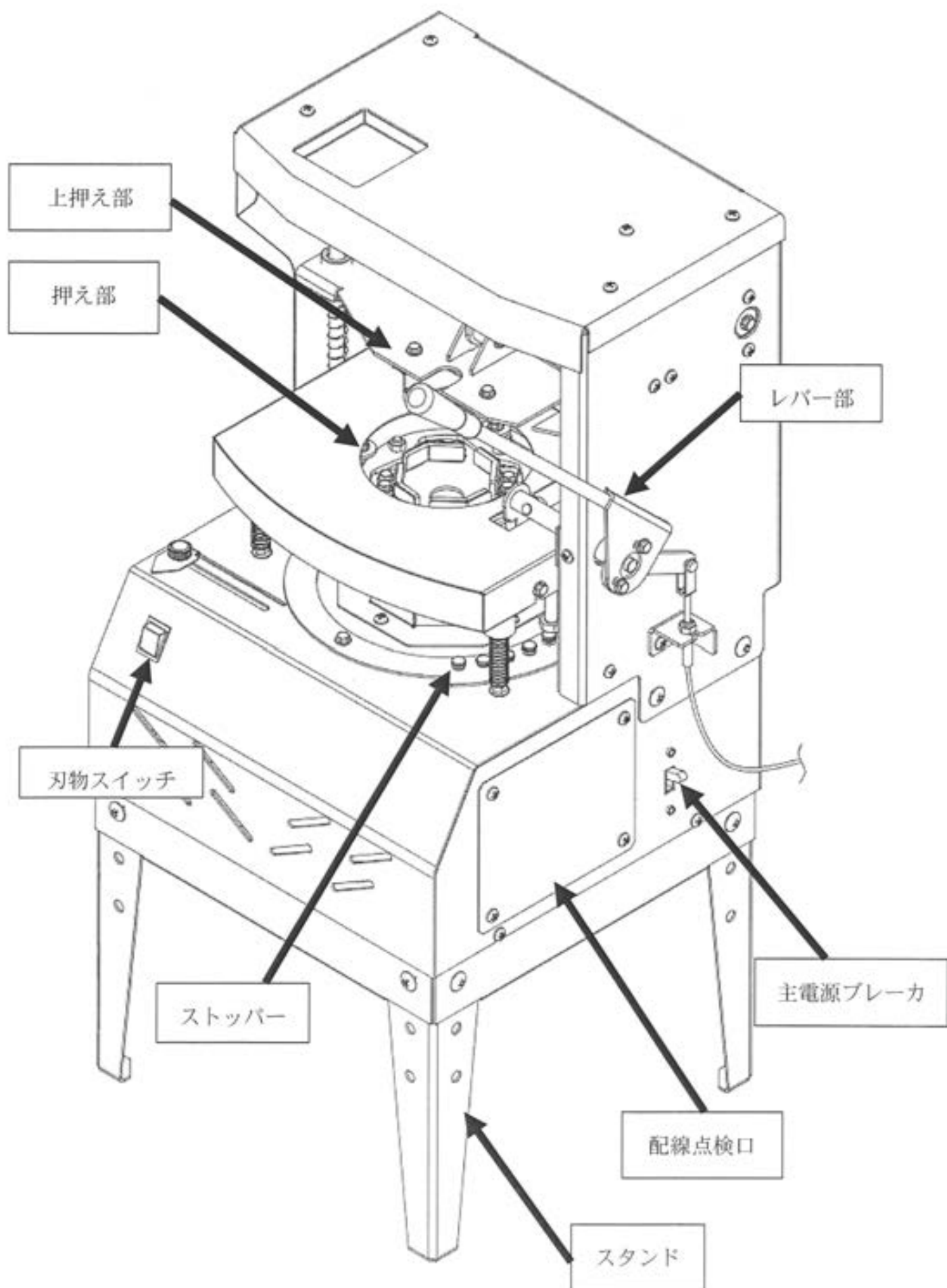
この製品の補修部品の供給年限は、製造打ち切り後9年です。ただし、供給年限内であっても特殊部品については納期等をご相談させていただく場合があります。

■ サービスの実施

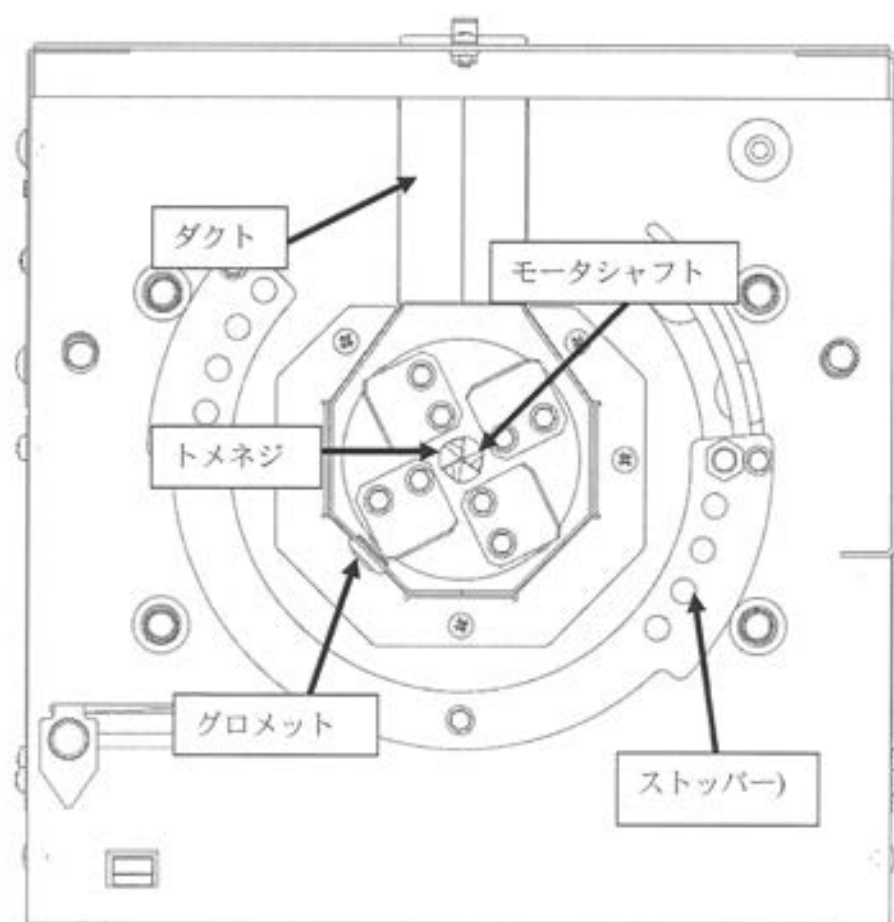
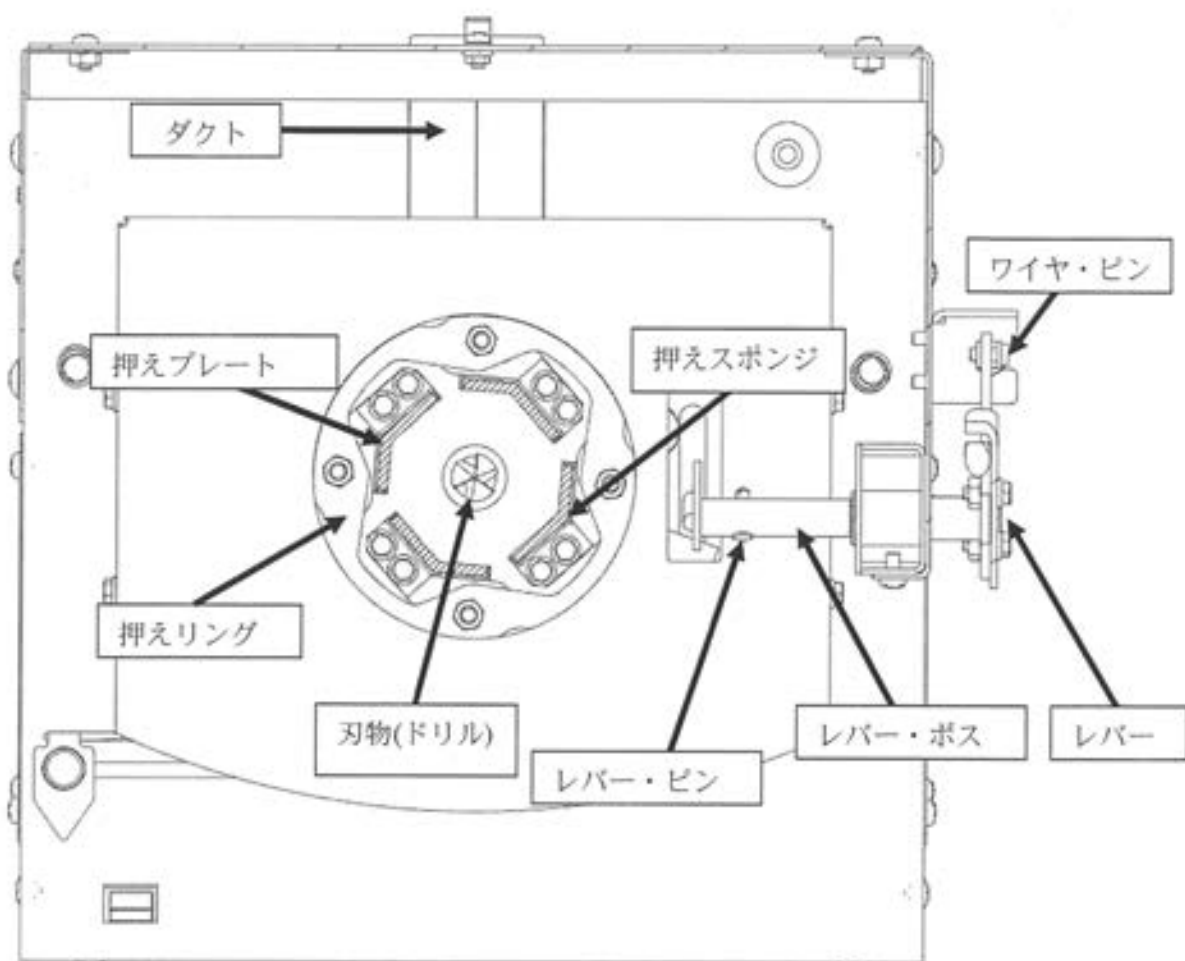
お買い上げいただきましたご購入先が、点検・修理をはじめサービスのご相談などをお受けいたします。なお、部品のご注文の際は、ご購入先に純正部品表を準備しておりますので、そちらでご相談ください。

 警告	
機械の改造は危険ですので、絶対にしないでください。 改造した場合や取扱説明書に述べられた、 正しい使用目的と異なる場合は、 <u>メーカー保証の対象外</u> となりますのでご注意ください。	

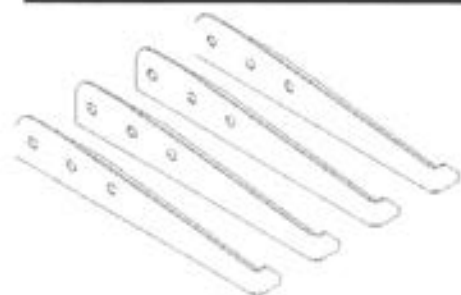
各部の名称



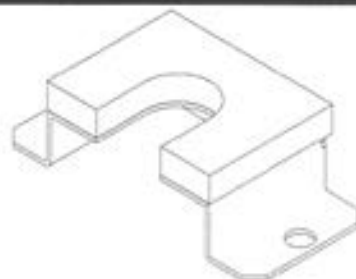
各部の名称 (押え部・レバー部)



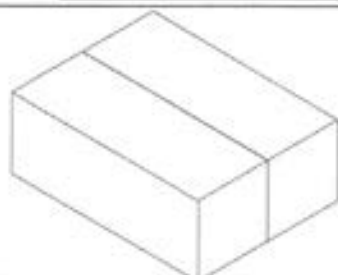
付属部品名



スタンド 4個



小型押え 1個



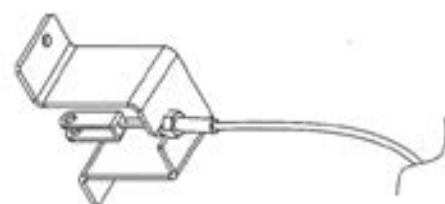
刃物 1個 (1本組付け済)



T字六角棒レンチ&マグネット 各1個



レバー 1個



ワイヤーブラケット1個



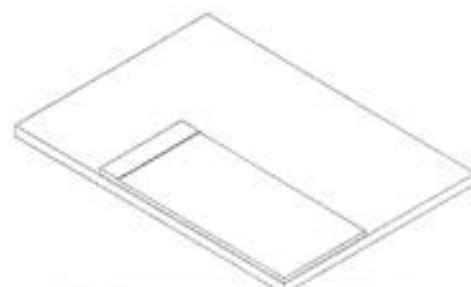
M6 フランジボルト 2本



M6 トラスコネジ 2本



M8 トラスコネジ 8本



取扱説明書・保証書 各1つ

組立方法







本機は、ほとんど組み上がった状態で出荷されますが、梱包用のダンボールから取り出し
スタンド・ワイヤーブラケット・レバーを指定の位置に組付けてください。

警告

- ◆ 組立場所は平坦で十分な広さがある場所で行ってください。
- ◆ 梱包を解体する時は、手・足・顔等をケガしないように注意してください。

○ 組立部品の確認。

部品を確認したらチェック欄に「✓」を付けてください

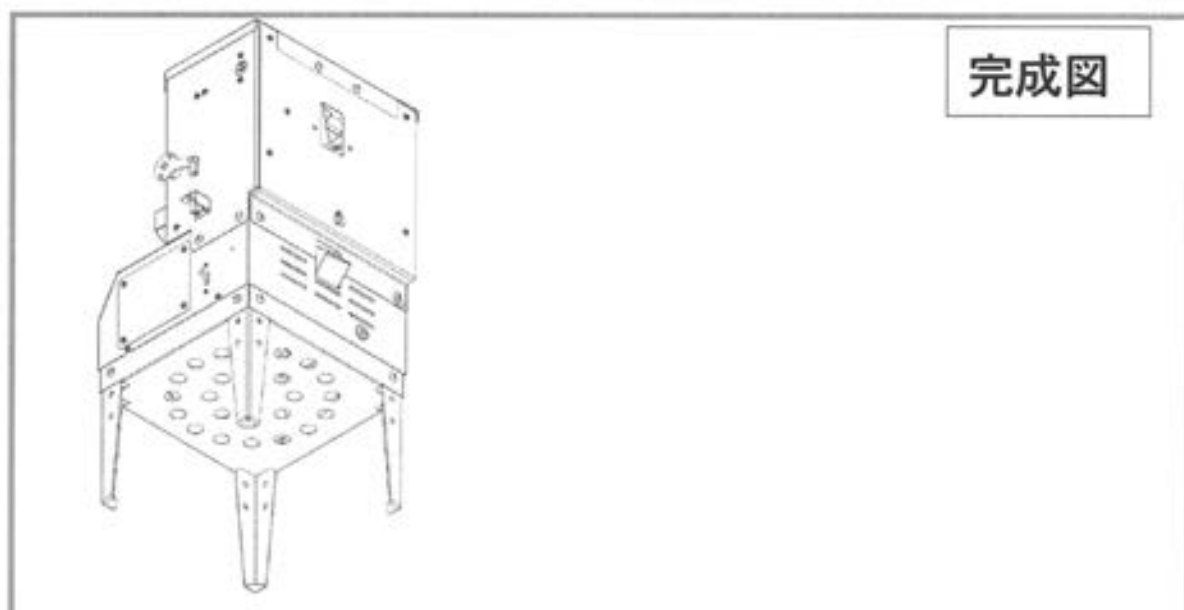
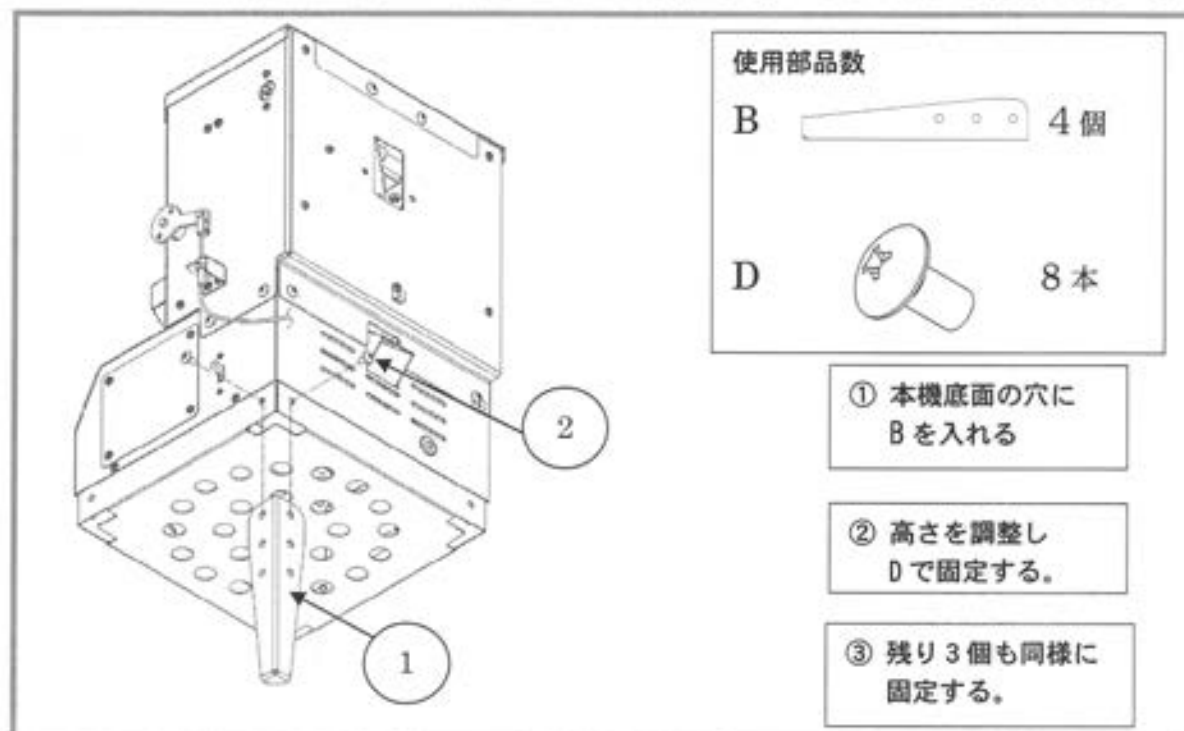
No.	形状	チェック	個数
A	 ワイヤーブラケット		1
B	 スタンド		4
C	 トラスコネジ (M6)		2
D	 トラスコネジ (M8)		8
E	 フランジボルト (M6)		2
F	 レバー		1

組立方法

■ スタンドの取り付けと高さ調整

スタンドを取り付ける際は P. 9 の B と D の部品と (+) ドライバーが必要になります。

- ・ スタンドは 3段階 の調節が出来ますので、お好みの高さに調整して下さい。
スタンドは、本機底面に開いた切欠きに入れ、外側からネジをしっかりと締めて下さい。



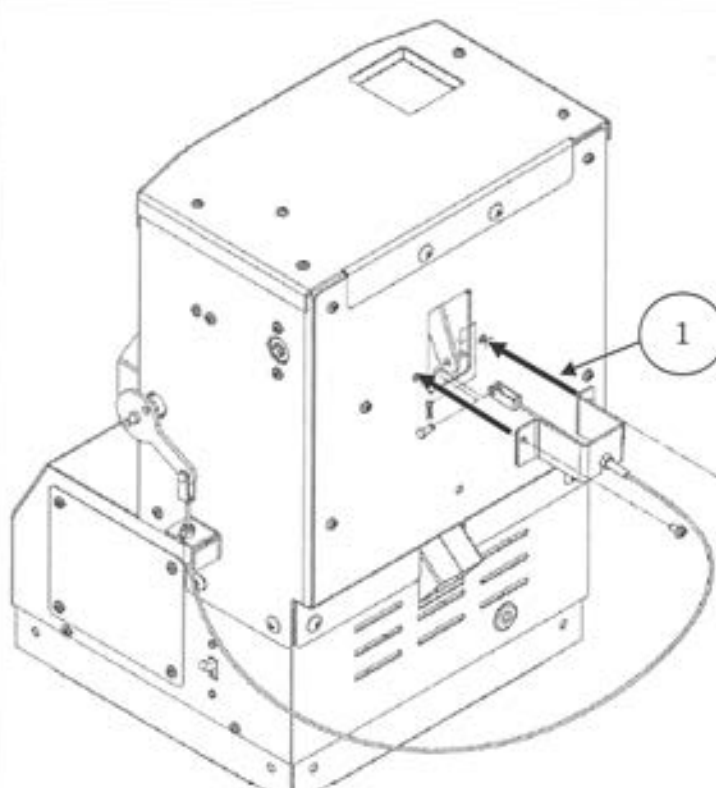
⚠ 注意

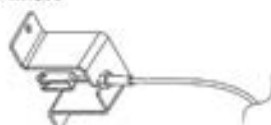

- ◆ 本機を持ち上げる際は、2人以上で作業し、本機が倒れないように注意してください。
- ◆ ネジを固定したとき、しっかりとネジが締まっているか確認してください。
機械が倒れてケガをする恐れがあります。

組立方法

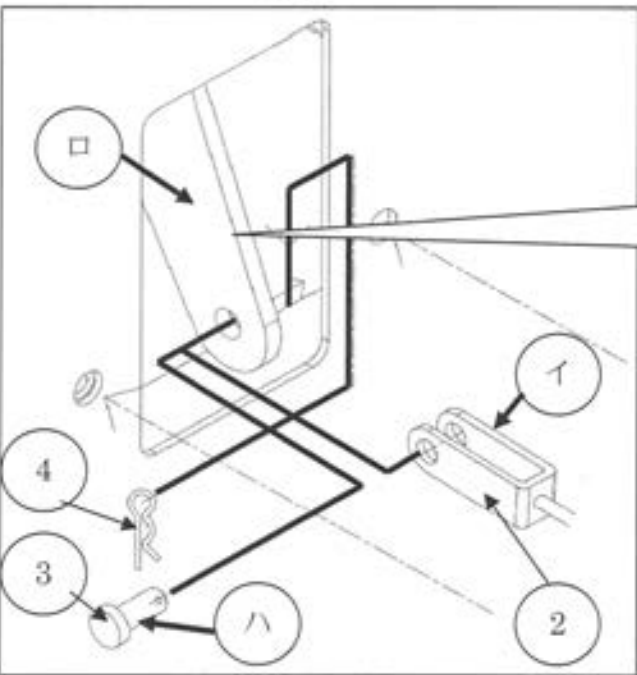
■ ワイヤースタックの取り付け

ワイヤースタックを取り付ける際は P.9 の A と C 部品と (+) ドライバーが必要になります。



使用部品数	
A	 1 個
C	 2 本

- ① A 部品を C 部品 2 本で固定して下さい。
- ② イ部品の穴とロ部品の穴が合うようにして下さい。
- ③ ハ部品をイ・ロ部品の穴に通して下さい。
- ④ R ピンをハ部品に開いている穴に組付けを行ってください。



ハ部品を組付ける際、上押え部を手で押し、ロ部品を後方に動かしながら、組付けを行うと作業が楽になります。

注意

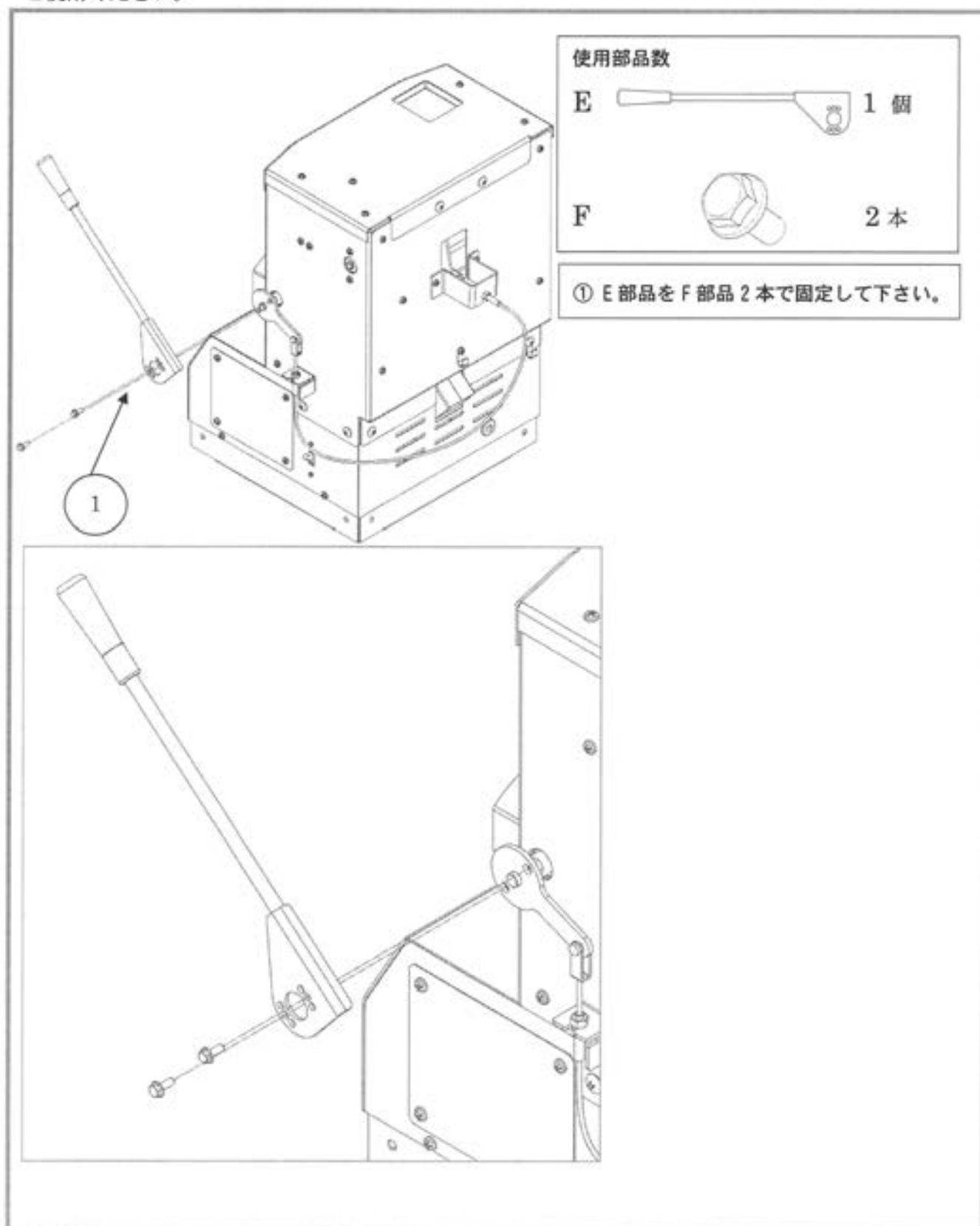
- ◆ R ピンが紛失しないように、組付けの際は注意してください。

組立方法

■ レバーの取り付け

レバーを取り付ける際は P. 9 の E と F 部品と工具 (スパナ 10) が必要になります。

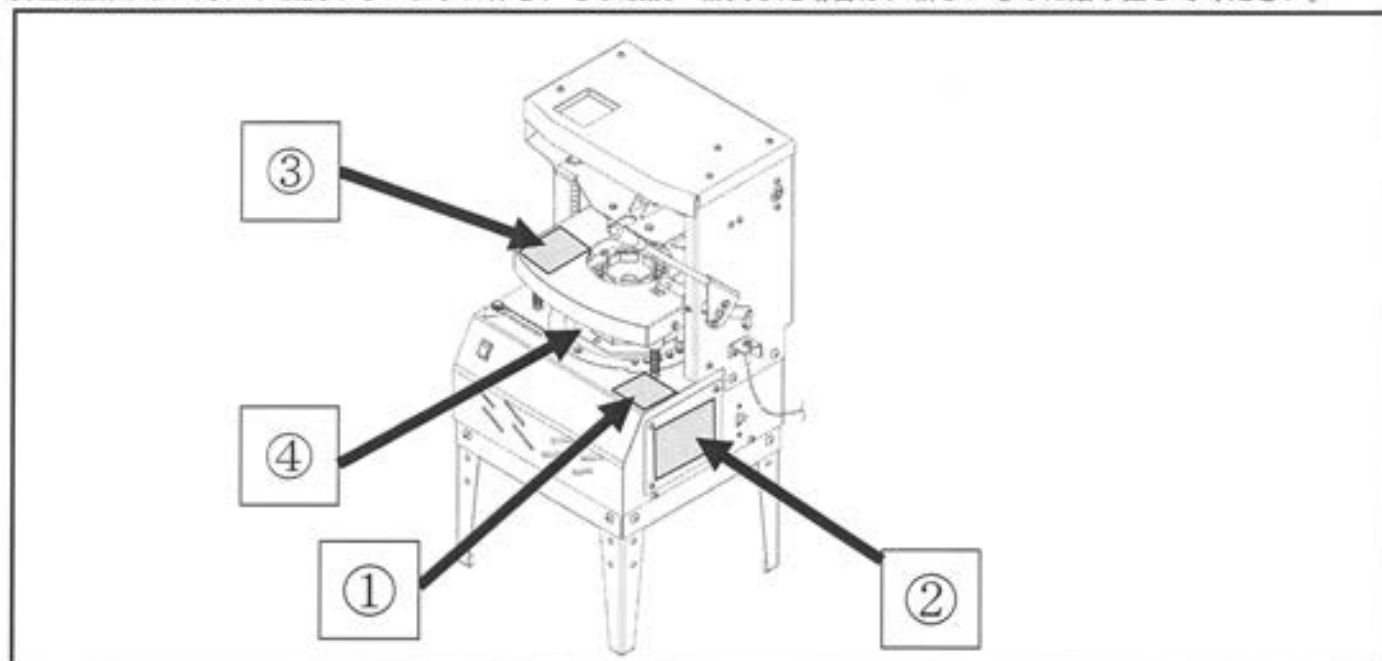
- ・レバーは 3 つの角度で使用いただけます。
レバーに開いている穴の固定位置で角度を変えることが出来るため、作業姿勢にあった角度で
ご使用ください。



安全銘板の貼り付け位置

安全に作業していただくために安全銘板の貼り位置を示したものです。

安全銘板は常に汚れや破損のないように保ち、もし破損・紛失した場合は、新しいものに貼り直してください。



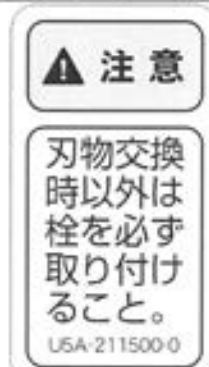
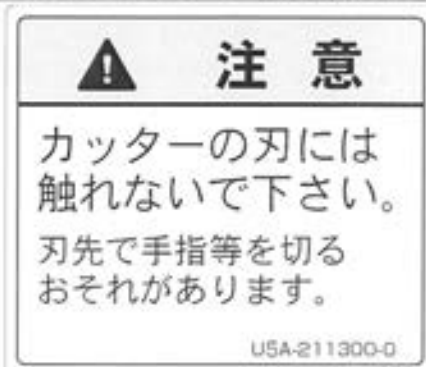
① U41-812700-0 注意 (はさまれ)

② 0000-01100 注意 (感電)



③ U5A-211300-0 注意 (カッター)

④ U5A-211500-0 ラベル (注意 カバー)










安全銘板の手入れについて

- ・安全銘板は、いつもきれいにして、傷つけないようにして下さい。
- ・安全銘板が汚れているときは、石鹼水を付けた布でふき、柔らかい布で水分をふき取ってください。
- ・安全銘板を破損や紛失したときは、新しい安全銘板を元の位置に貼ってください。安全銘板はお買い上げの販売店等に注文してください。

適応・適応外のニンニクについて

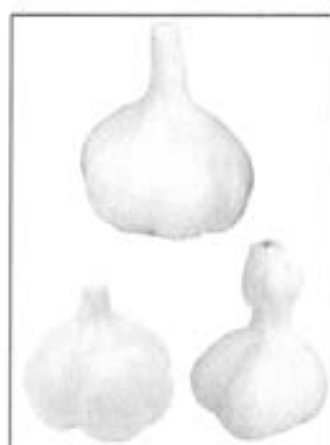
■ 適応ニンニクについて

● 適応ニンニク

サイズ				等級		
						
2L (70mm以上 80mm未満)	L (60mm以上 70mm未満)	M (50mm以上 60mm未満)	S (40mm以上 50mm未満)	A	B	C
○	○	○	△	○	○	△

○が最適、△が適応可

- ・適応ニンニクは、2L～S サイズまでは適応することが出来ます。
しかし、S サイズでは作業時に切削範囲がずれ、綺麗に根を除去する事が出来ない可能性があります。
- ・等級では A～C品の等級まで適応する事が出来ます。
C品のSサイズ等を使用すると切削範囲がずれる可能性があります。



- ・鱗片の形が整っている
 - ・鱗片に割れが無い物
 - ・茎にできるコブの大きさが 1.5cm～2.0cm の物
 - ・底面が平らな物
- 以上が本機で作業する際に最適な形状になります。

■ 適応外ニンニクについて

● 適応外ニンニク

- ・形の崩れているもの
- ・片に欠けがあるもの
- ・ひび割れしているもの
- ・開花しているもの



※形・サイズによって異なります。

ニンニク根すり機を安全に長持ちさせるには

■ 始業点検(毎日の始動前点検)

故障を未然に防ぐためには、機械の状態をよく知っておくことが大切です。
毎日作業前に、必ず始業点検を行ってください。

1. 前日使用時の異常箇所
2. 機械の状態を確認。
 - ① 刃物(ドリル)がしっかりと固定されているか?
 - ② 刃物(ドリル)表面にゴミが付いていないか?
 - ③ 各部の損傷、ボルト・ナットのゆるみはないか?
 - ④ 電気配線の断線、配線の抜け・ターミナルのゆるみはないか?

警告

- 点検・整備・清掃を行う際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。怠ると感電することがあり、大変危険です。
- 作業場所は平坦で十分な広さがあり、地盤がしっかりとした場所で行ってください。守らないと本機が転倒等を起こし、破損やケガをする可能性があります。

■ 電気配線

- ① 配線のターミナル(端子)のゆるみは、接続不良となります。
また配線が損傷していると電気部品の性能を損なうだけでなく、ショート(短絡)、漏電、焼損などの事故につながります。傷んだ配線は早めに交換してください。
- ② ハーネスについているスイッチやブレーカが故障すると作業ができなくなります。
新品と交換してください。

注意

配線の端子や接続部の緩み及び損傷は、電気部品の性能を損なうだけでなく、ショート(短絡)漏電の原因となり、火災事故 になる恐れがあり大変危険です。傷んだ配線は交換してください。

注意

外したカバーは、必ず取り付けてください。

■ 使用後の清掃

- ① 使用後は必ず機体の清掃を行ってください。
機体を清掃する際は、エアブロー等でゴミを飛ばした後、布等で汚れをふき取ってください。
- ② 汚れをふき取った後、可動部を油を染み込ませた布で清掃し、錆びやすいところや、可動部にオイルを注油、塗布してください。
- ③ 刃物(ドリル)に付いた汚れ等の清掃は、刃物(ドリル)を本体から取り外して行ってください。
- ④ 清掃時は、電源プラグを抜いてから作業を行ってください。

ニンニク根すり機を安全に長持ちさせるには

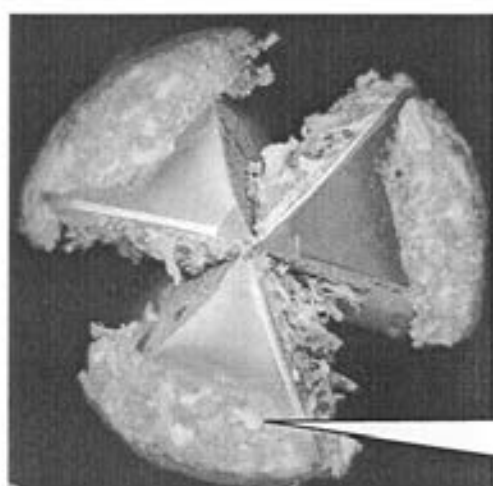
■長期格納時の手入れ

シーズンオフで長時間使用せず、格納しておく場合は、特に念入りにゴミをエアーコンプレッサー等で落としてください。

また、各可動部や塗装の剥がれたところは、錆びないように補修するかオイルスプレーを塗布してください。

重要

- 電気配線、モータ、スイッチ等の電気部品には水をかけないでください。故障の原因となります。
- オイルスプレー塗付時に、他の場所にオイル等が付着した場合は、しっかりと拭き取ってください。
- 刃物(ドリル)に切削物が付着した場合は、綺麗に除去してください。
- 刃物(ドリル)の切れ味が低下した場合は、販売店等に研磨の依頼を行ってください。

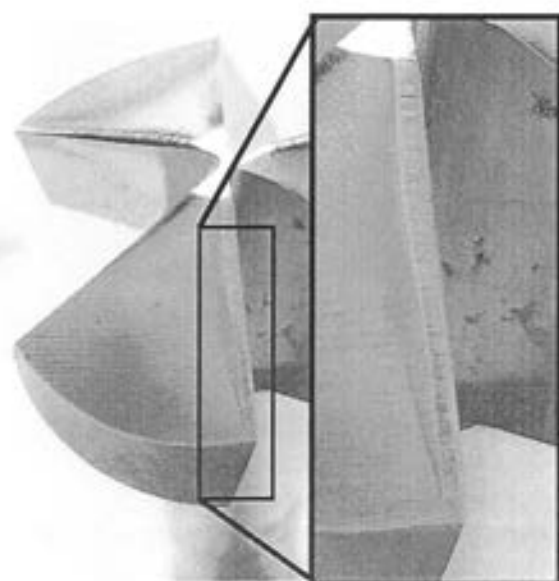


- ・刃物(ドリル)表面に切削物が付着します。付着した場合、刃物(ドリル)を取り外し水の中に入れ数分放置してください。水から取り出した後、歯ブラシ等で刃物(ドリル)表面の付着物を除去してください。
- ・付着物を除去した後、刃物(ドリル)が濡れている場合、錆びの原因になる為、タオル等で水気を拭き取ってください。長時間使用しない場合、ケース内に入れ保管してください。

ニンニクの盤茎や根が付着した状態。時間を置くと硬化し、刃物(ドリル)の切れ味を悪くする為、定期的に除去してください。

注意

- ・点検・整備・清掃を行う際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。怠ると大きなケガに繋がります。
- ・刃物(ドリル)に触れる場合、手を切る可能性があります。手袋等を使用して、手が切れないように保護を行ってください。



- ・刃物(ドリル)の刃部が広がってきた頃が研磨の目安です。本機を購入した販売店等に研磨の依頼をしてください。

ニク根すりを安全に長持ちさせるには

●定期点検項目



使用前点検、定期点検を必ず行ってください。
点検・整備は必ず電源を OFF にし、電源コネクタを抜いてから行ってください。

定期点検項目表

点検項目	シーズンごと		
	作業前点検	作業シーズン初め	作業シーズン終わり
配線等の破損・断線	○	-	-
刃物(ドリル)表面への付着物の確認	○	-	○
各種スイッチの作動	○	-	-
消耗部品の状態確認	-	○	○
各部ボルトの締め付け	-	○	○
シャフト類へのオイル塗布	(○)	○	○

点検・整備方法と確認箇所

● 配線等の破損・断線



電源コネクタがつながった配線の下記の項目を確認して下さい。

- 1.配線が異様に曲がっていませんか。
- 2.配線にキズや、被覆が破れている箇所はありませんか。
- 3.電源コネクタの端子が外れていませんか。

● 各スイッチの動作



刃物スイッチでは下記の項目を確認して下さい。

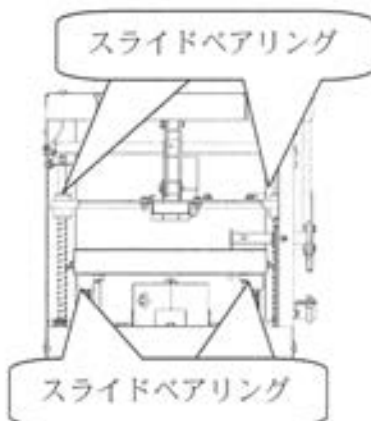
- 1.スイッチが正常に ON/OFF できますか。
- 2.スイッチを ON にした際に、モータが正常に回転しますか。
- 3.ON にした時に、しっかりとランプが点きますか。



主電源スイッチでは下記の項目を確認して下さい。

- 1.スイッチが正常に ON/OFF できますか。
- 2.スイッチを ON にした際に、ライトが点きますか。
- 3.OFF の状態で刃物スイッチを ON にした際に、モータが回転しませんか。

● 消耗部品の状態確認



スライドベアリングでは下記の項目を確認して下さい。

- 1.押さえ部・上押え部を動作させた時に、引掛りがないか。
- 2.レバーを下げた際に、異様に力が必要になっていないか。
- 3.シャフト周辺に、小さい鉄の球体が落ちていないか。

以上の項目を確認して下さい。

確認時、どれかの項目が当てはまった場合は、販売店等にご相談ください。

部品の交換が必要になっている可能性があります。

作業前の準備

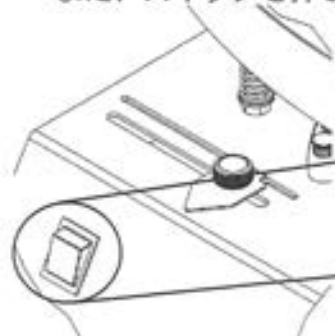
注意

- 電源プラグをコンセントに差し込む前に、各スイッチが OFF になっていることを確認してください。
- 押え部中央にある刃物(ドリル)がしっかりと固定されているかを確認してください。
- 作業部(刃物等の可動部)に巻き込まれる恐れのあるものは、作業場所の周辺に置かないでください。
- ドラムコード及び延長コードを多用すると、電圧が低下する原因になります。電圧が低下するとモータの回転数が落ちて、正常に作業を行う事が出来なくなります。また、モータが起動できなくなる事があります。

- ① 作業場所に作業に十分なスペースがあるか確認してください。
- ② 本機後方部には、切断された毛根が排出される「ダクト」がありますので、ダクト周辺にコンテナやビニール袋等を用意してください。作業時のゴミの飛散を防ぎます。
- ③ 作業前にニンニクの粗選別をしてください。
サイズと等級別に選別することによって、作業時間の短縮が望めます。

○試運転の手順

- ① 周囲の安全を確認して下さい。
- ② 刃物スイッチが OFF の位置にあることを確認して下さい。
- ③ 主電源スイッチが OFF の位置にあることを確認して下さい。
- ④ 刃物がしっかりと固定されているかを確認して下さい
- ⑤ 電源プラグを差し込んで下さい。
- ⑥ 主電源ブレーカを ON の位置にして下さい。
→このとき、LED ライトが点灯していることを確認して下さい。
- ⑦ 刃物スイッチを ON の位置にして下さい。
→モータが始動します。回転が安定したら、異音・異常がないか確認して下さい。
また、スイッチを押した際に、スイッチ部が発光していることを確認して下さい。



スイッチを ON にすると
スイッチ中央部のライトが点灯します。

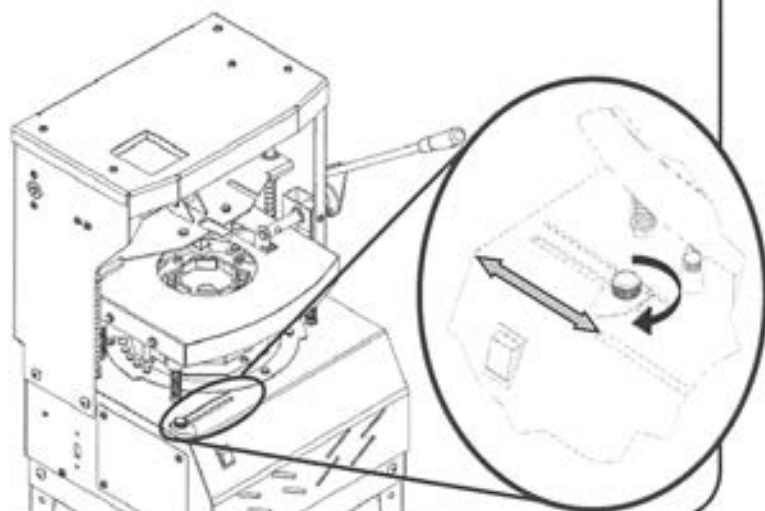
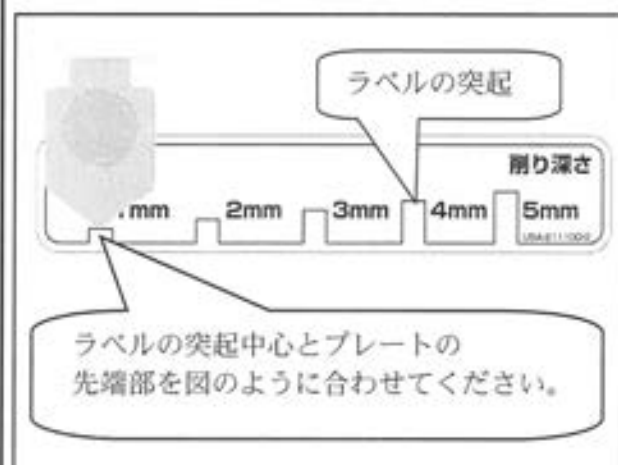
- ⑧ 刃物回転後、3分程度連続運転して、異音・異常がないか確認して下さい。(試運転完了)

作業手順

■作業手順

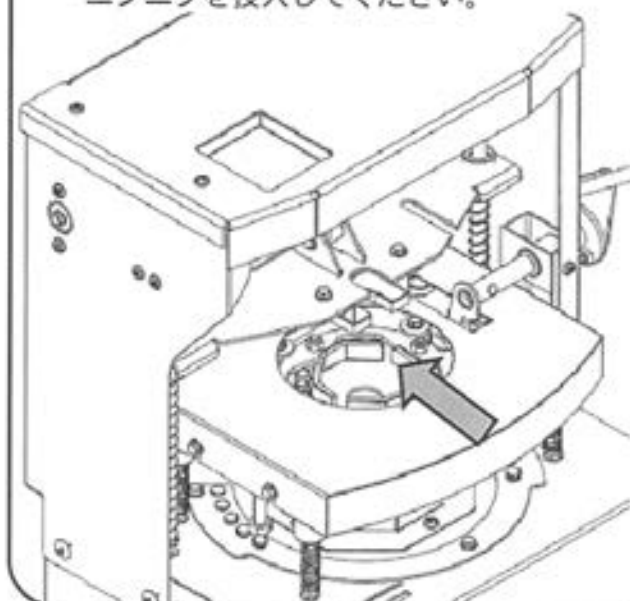
① 根すり作業

- ① ニンニクの大きさに合わせ、根すり深さを変更します。
深さを変更するには、プレートの位置をラベルに合わせてください。
位置を合わせた後は、ローレットネジを締め、固定してください。



※ニンニクの形状によっては、根すり深さが深すぎる場合があります。
削りが深い場合は、ひとつ小さい値で作業を行ってください。

- ② ニンニクを押え部に入れてください。
その際、ニンニクの茎が曲がっている場合は、茎を写真の様に切欠き方向に向けニンニクを投入してください。

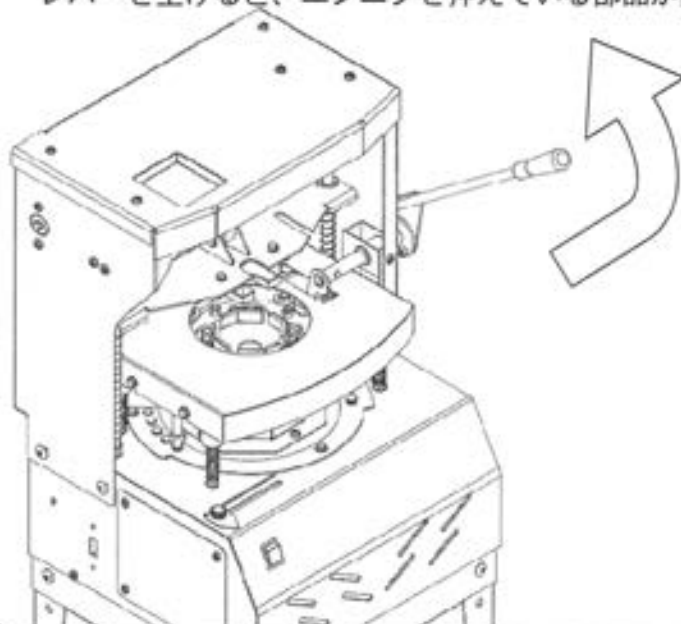


※にんにく投入時、根が長い場合、回転している刃物(ドリル)に根が当たり、ニンニクが動く場合があります。
動く場合は、茎を手で固定しながら、ハンドルを下げてください。

- ③ レバーを下げて、根の除去を行ってください。
レバーを下げると上押え部が下がり、ニンニクの根を削り始めます。
その際に、各部が下がるので、手等を挟まないように注意してください。



- ④ 根の除去後、軽くレバーを上げてください。
レバーを上げると、ニンニクを押えている部品が開き、ニンニクを取り出すことができます。



⚠ 注意

作業中、トラブル等が発生した場合、直ちに本機を停止させてください。

② サーマルプロテクション作動と停止後の再始動



警告

- ◆ サーマルプロテクションが作動し、機械が停止した場合は、直ちに電源プラグを抜いてください。怠ると、火災・事故を起こすことがあります
- ◆ 電源プラグをコンセントから抜いた後、過負荷の原因を取り除いてください。原因を取り抜かず再始動すると、故障や事故の原因になることがあります。

・サーマルプロテクションが作動した場合の手順

サーマルプロテクションが作動すると、刃物スイッチが発光なくなり、スイッチを ON にしても、モータが回転しなくなります。
このような状態に陥った場合は以下の手順を行ってください。

- (1) 刃物スイッチを OFF にする
- (2) 主電源ブレーカを OFF にする
- (3) 電源プラグを抜く。



注意

スイッチ・コンセントプラグ等はぬれた手で触らないでください。感電することがあり大変危険です。

・再始動方法の手順

- (1) 10分～30分程度作業を中断して、モータを冷まして下さい。
- (2) 電源プラグをコンセントに接続してください。
- (3) 主電源用ブレーカを OFF から ON にし、LED ライトが確実に点灯するかを確認して下さい。
- (4) 刃物スイッチを OFF から ON にして、モータが回転するかを確認して下さい。

(4) までの手順を行っても、モータや LED ライト、刃物スイッチの動作が正常に行われな場合、配線がショート(短絡)している恐れがあります。
お買い上げいただいた販売店等にご連絡してください。

刃物の脱着

本機の根除去用の刃物(ドリル)は以下の通りに脱着を行ってください。

◆③-1 刃物を外す

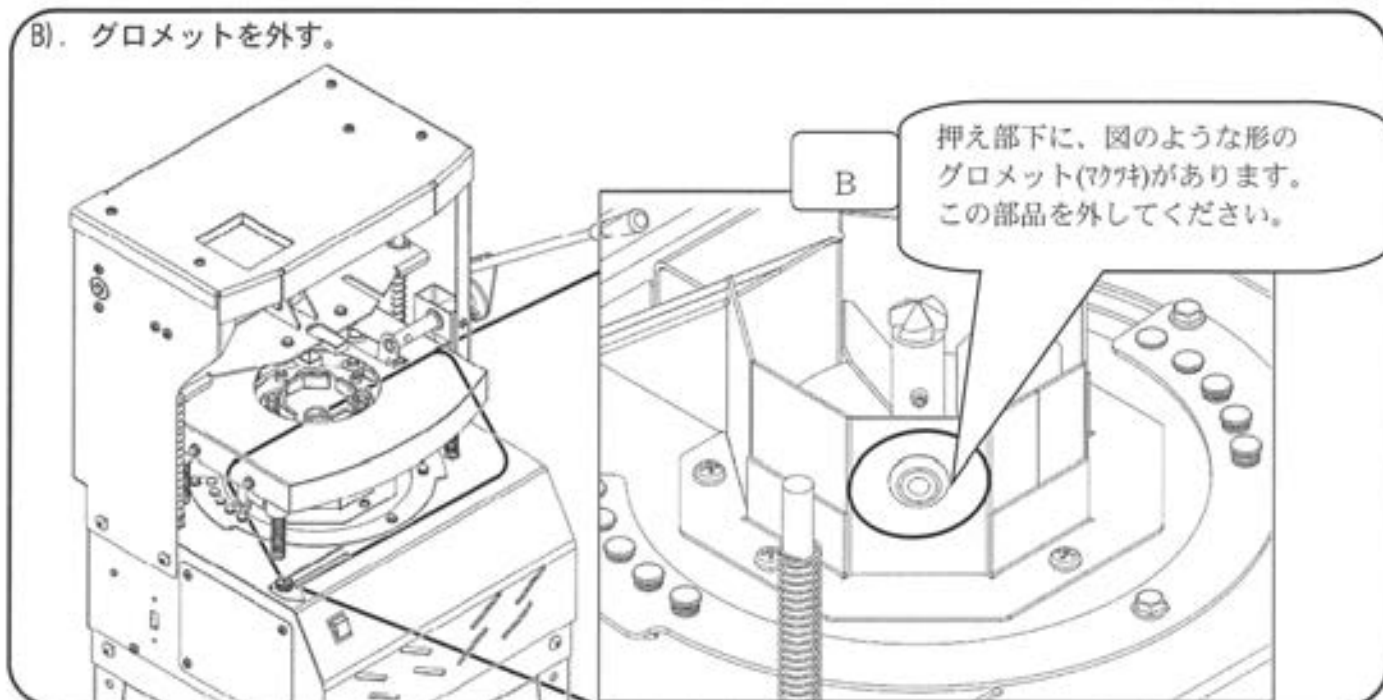
- A) 電源プラグを抜く。
- B) グロメットの脱着
- C) トメネジの脱着
- D) 刃物(ドリル)脱着



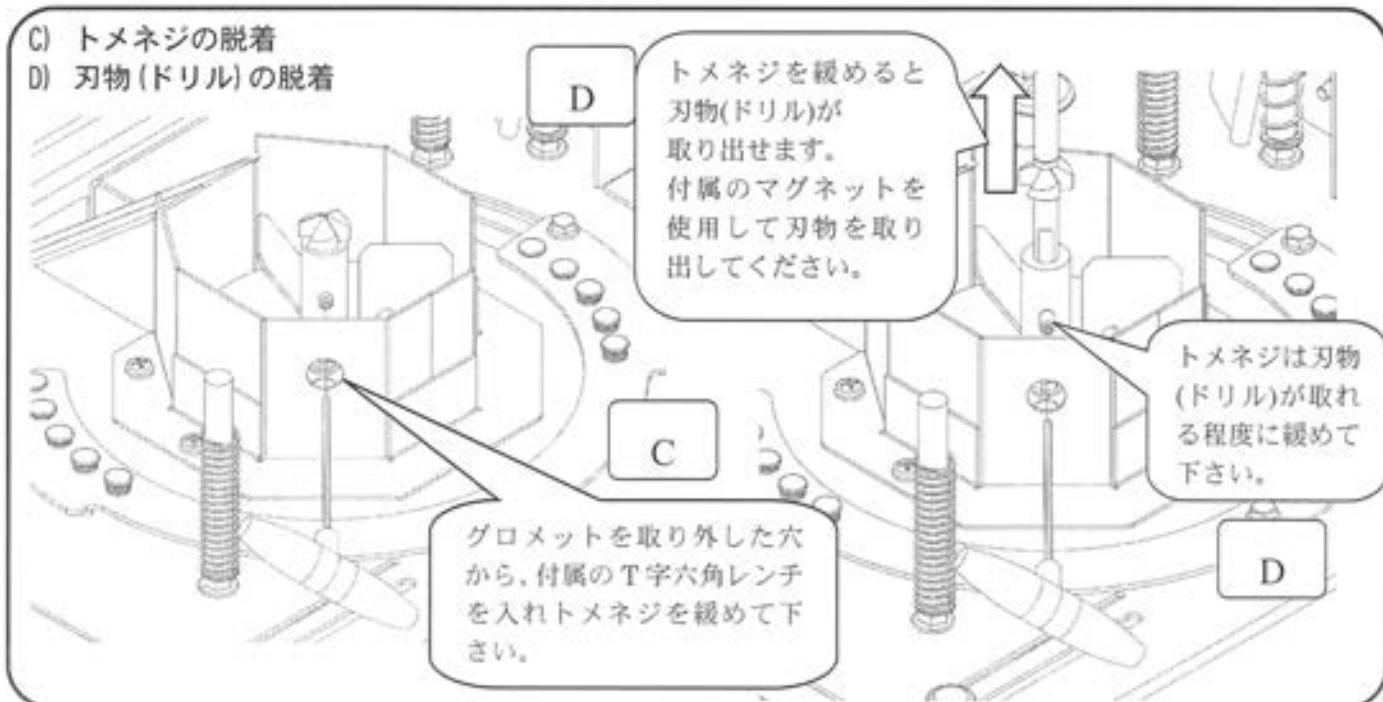
⚠注意

- ・作業前に、電源プラグを抜いてください。取り外し作業中に回転し怪我をする可能性があります。
- ・刃物は素手で触らないでください。鋭利なため、手を切る可能性があります。

B) グロメットを外す。



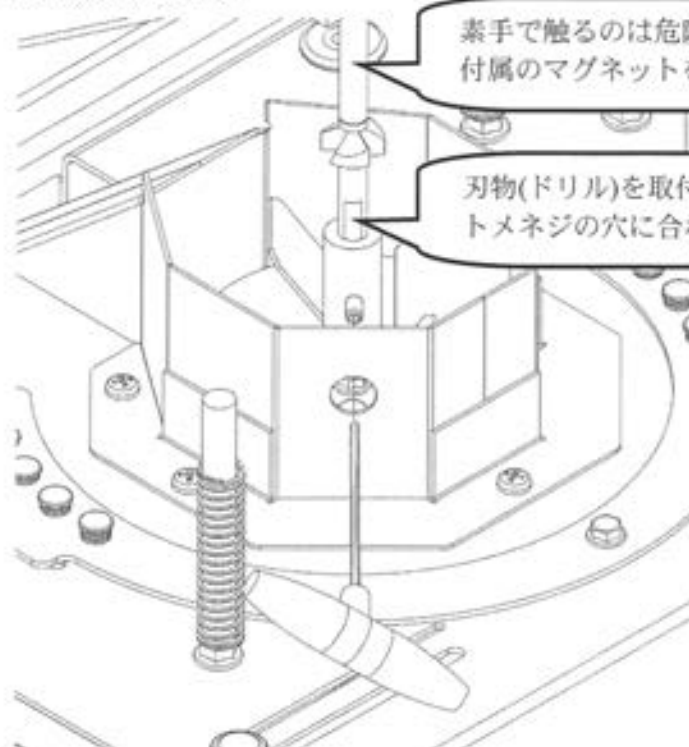
C) トメネジの脱着 D) 刃物(ドリル)の脱着



◆③-2 刃物を取付ける

- E) 刃物(ドリル)を取付ける。
- F) トメネジを締める。
- G) グロメットを組付ける。

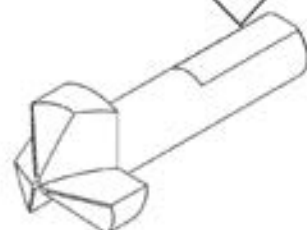
E) 刃物の取り付け



素手で触るのは危険です。
付属のマグネットを使用してください。

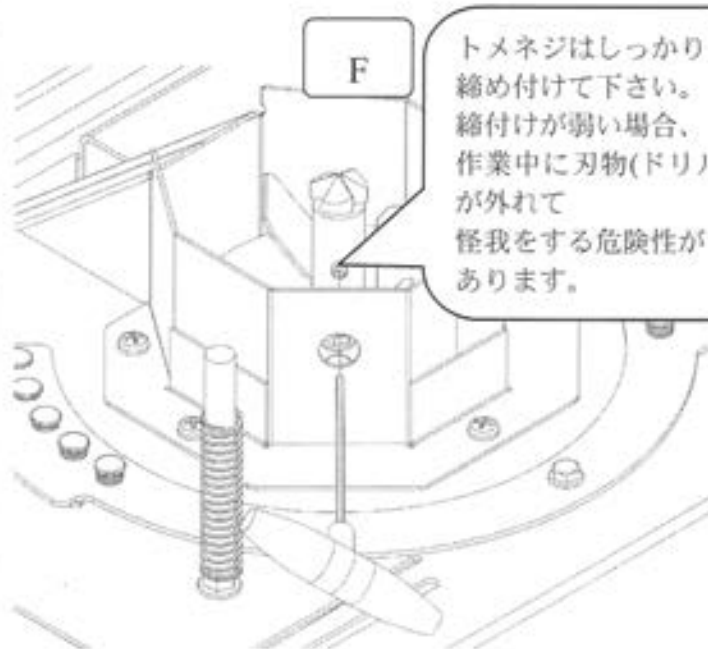
刃物(ドリル)を取付ける際、刃物の平たい面を
トメネジの穴に合わせ組付けて下さい。

この面をトメネジの穴
に合わせる。

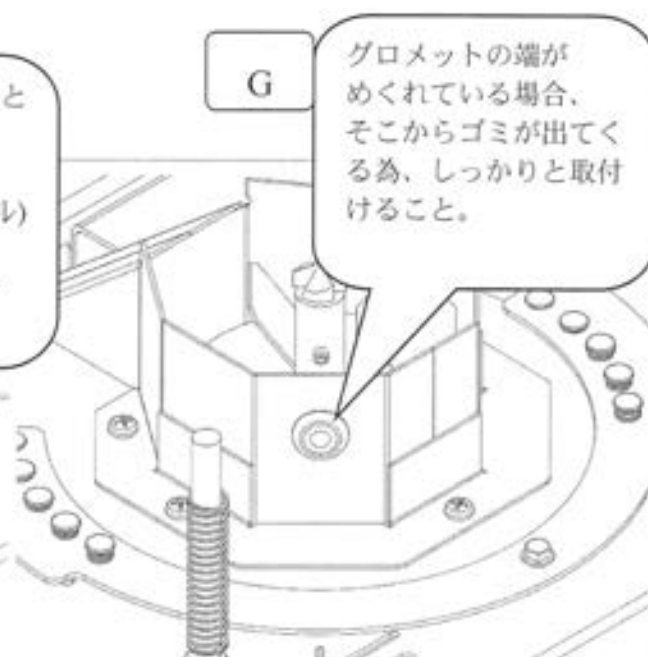


F) トメネジを締める

G) グロメットを取り付ける



トメネジはしっかりと
締め付けて下さい。
締め付けが弱い場合、
作業中に刃物(ドリル)
が外れて
怪我をする危険性が
あります。

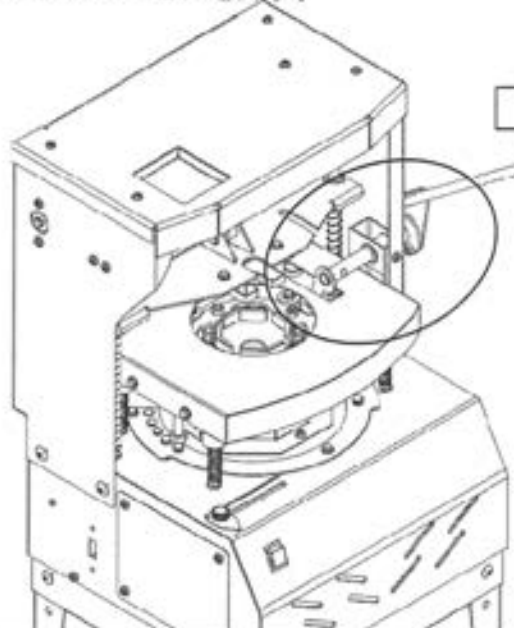


グロメットの端が
めくれている場合、
そこからゴミが出てく
る為、しっかりと取付
けること。

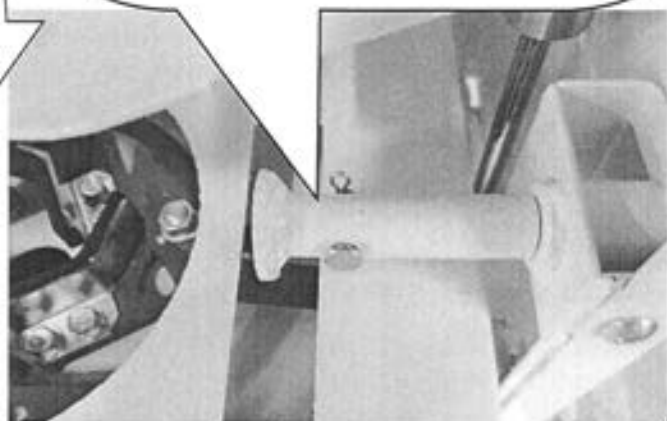
◆③-3 刃物を外す (別方法)

- H) 電源コンセントを抜く。
- I) レバー・ピンを外す。
- J) レバー・ボスを外す。
- K) ワイヤ・ピンを外す。
- L) 作業部を取り外す。
- M) 刃物(ドリル)脱着

I) レバー・ピンを外す。



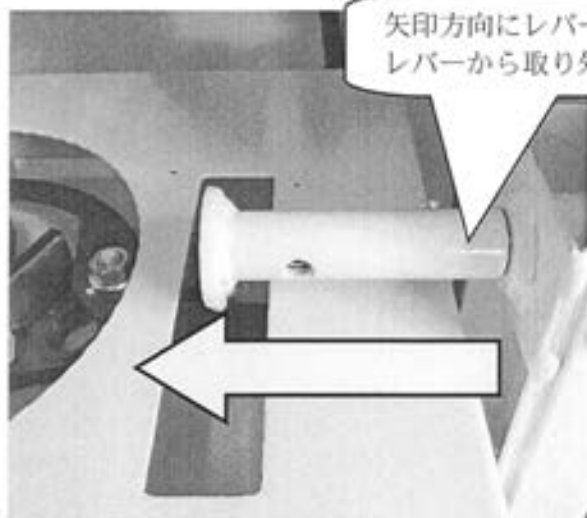
レバー・ボスについている、ピンを外して下さい。
その際、レバーを軽く倒しながら作業を行うと、ピンの抜けが良くなります。



※レバー・ピン及びRピンは刃物(ドリル)脱着後に再度使用しますので、紛失しないようにしてください。

また、ピン等をモータシャフト等の回転等の可動部に落とした際は、電源プラグが完全にコンセントから抜けているのを確認してから、落下物を取ってください。

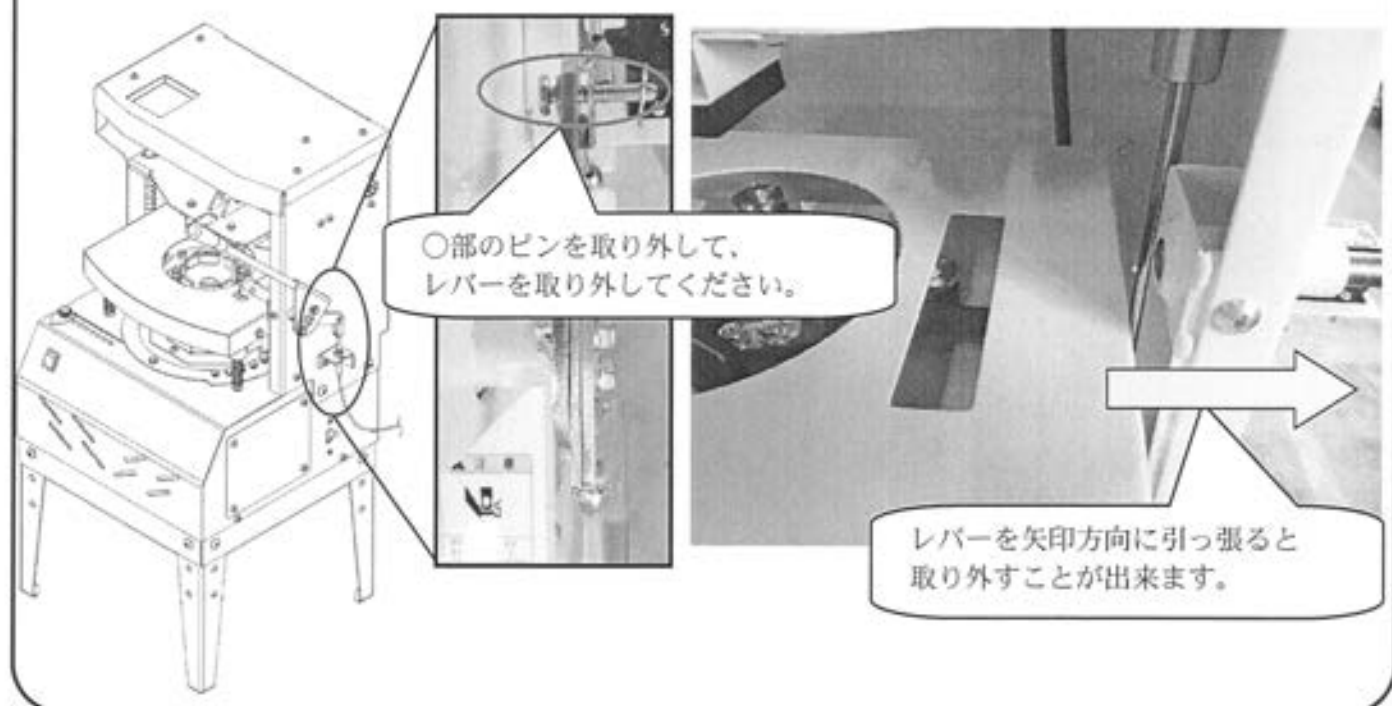
J) レバー・ボスを外す



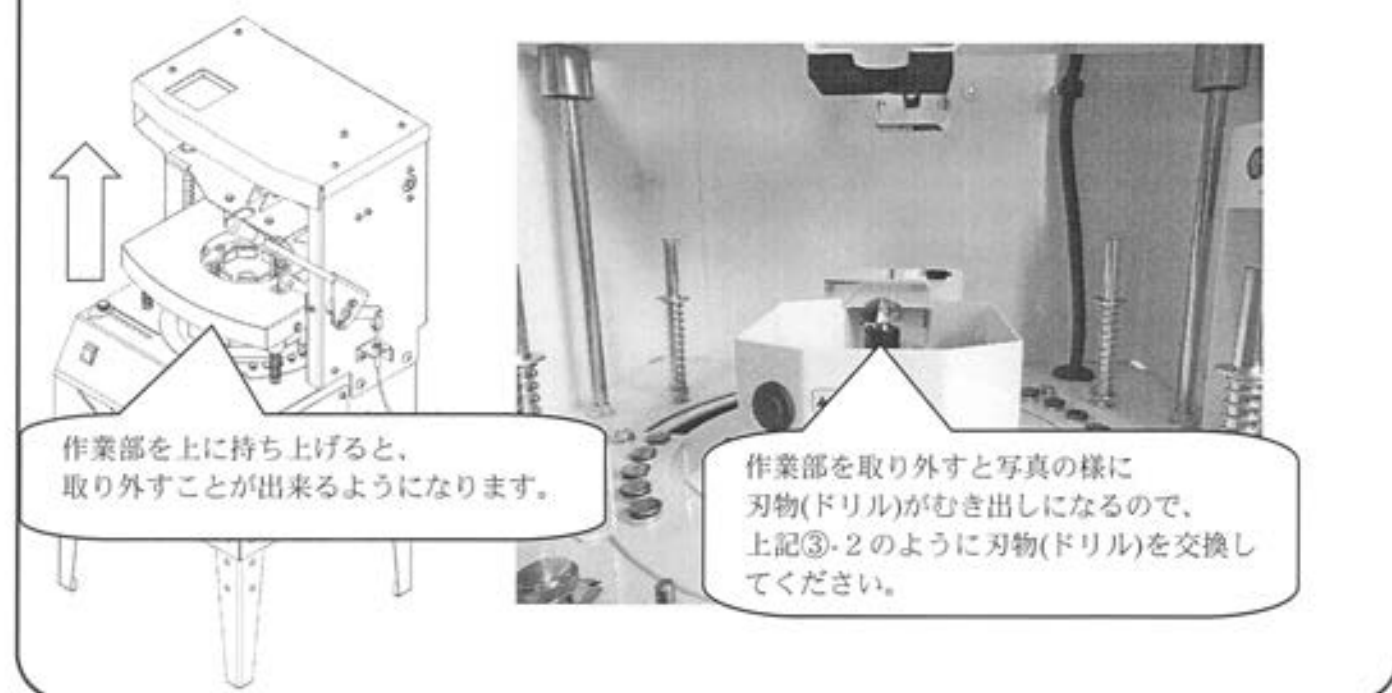
矢印方向にレバー・ボスを動かし
レバーから取り外してください



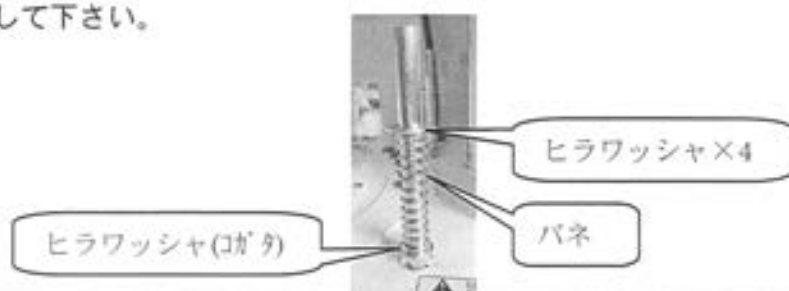
K) ワイヤ・ピンを外す



L) 作業部の取り外し (M) 刃物(ドリル)脱着



※刃物(ドリル)の取り付けが終了したら、取り外した時と逆の手順で組付けを行ってください。
また、作業部を組付ける際に、下の写真の様に、各種部品がシャフトに付いているかを確認して下さい。



④ 付属品(小型押え)の交換方法。

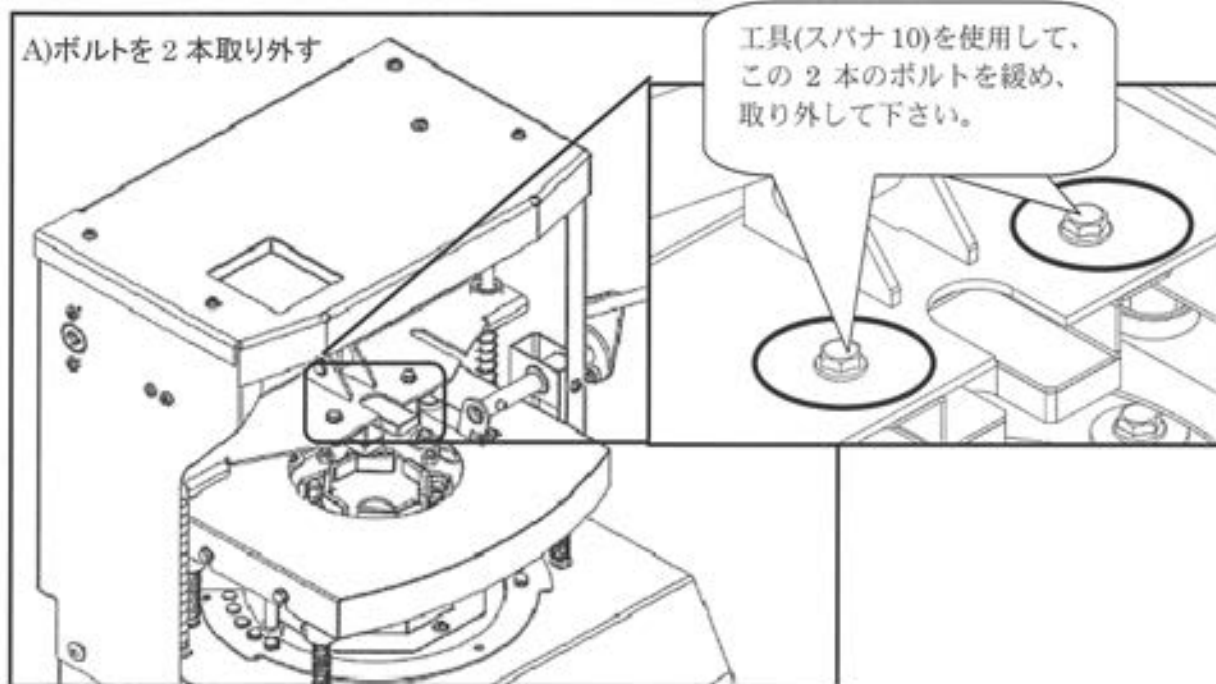
付属品(小型押え)を交換する際は工具(スパナ 10)が必要になります。
また、付属品(小型押え)に交換する目安は以下のようになっています。

1. ニンニクのサイズが S サイズ又は S サイズ以下の場合。
2. 鱗片の形が揃っており、茎の曲がりが多く、茎の径が小さい場合。
3. 通常の押えで、しっかりと押えることが出来なかった場合。
上記の項目に当てはまる場合、交換を行ってください。

A) ボルトを 2 本取り外す。

B) 付属品(小型押え)を外したボルト 2 本で組付ける。

C) 完成。



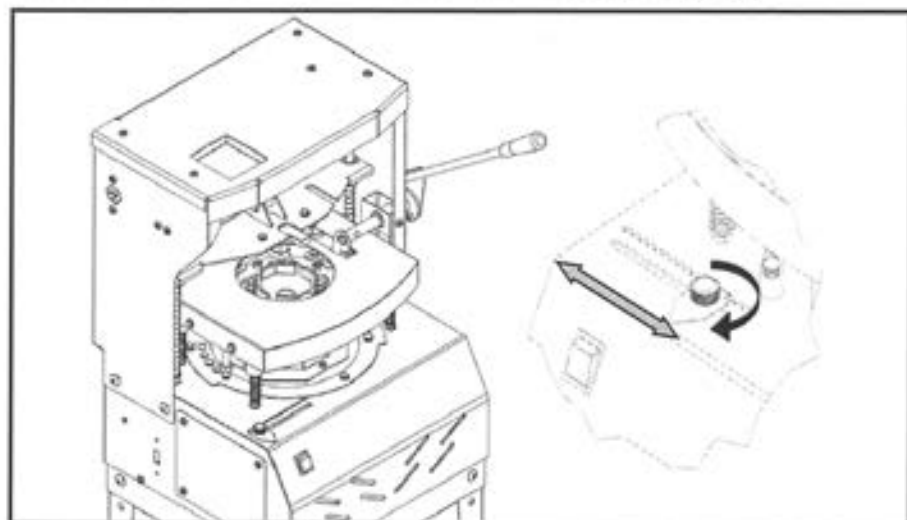
B) 付属品を外したボルト 2 本で組付ける。



刃物研磨後の削り深さの調整について

刃物を数回研磨すると、刃物の高さが変化し指定の深さで削る事が出来なくなってしまう事があります。その場合、下記の方法で根すり深さの調整を行ってください。

1. 通常作業と同じく、ニンニクの大きさに合わせ削り深さを変更。



2. 変更した削り深さから+1mm 深い、削り深さの位置に合わせる。



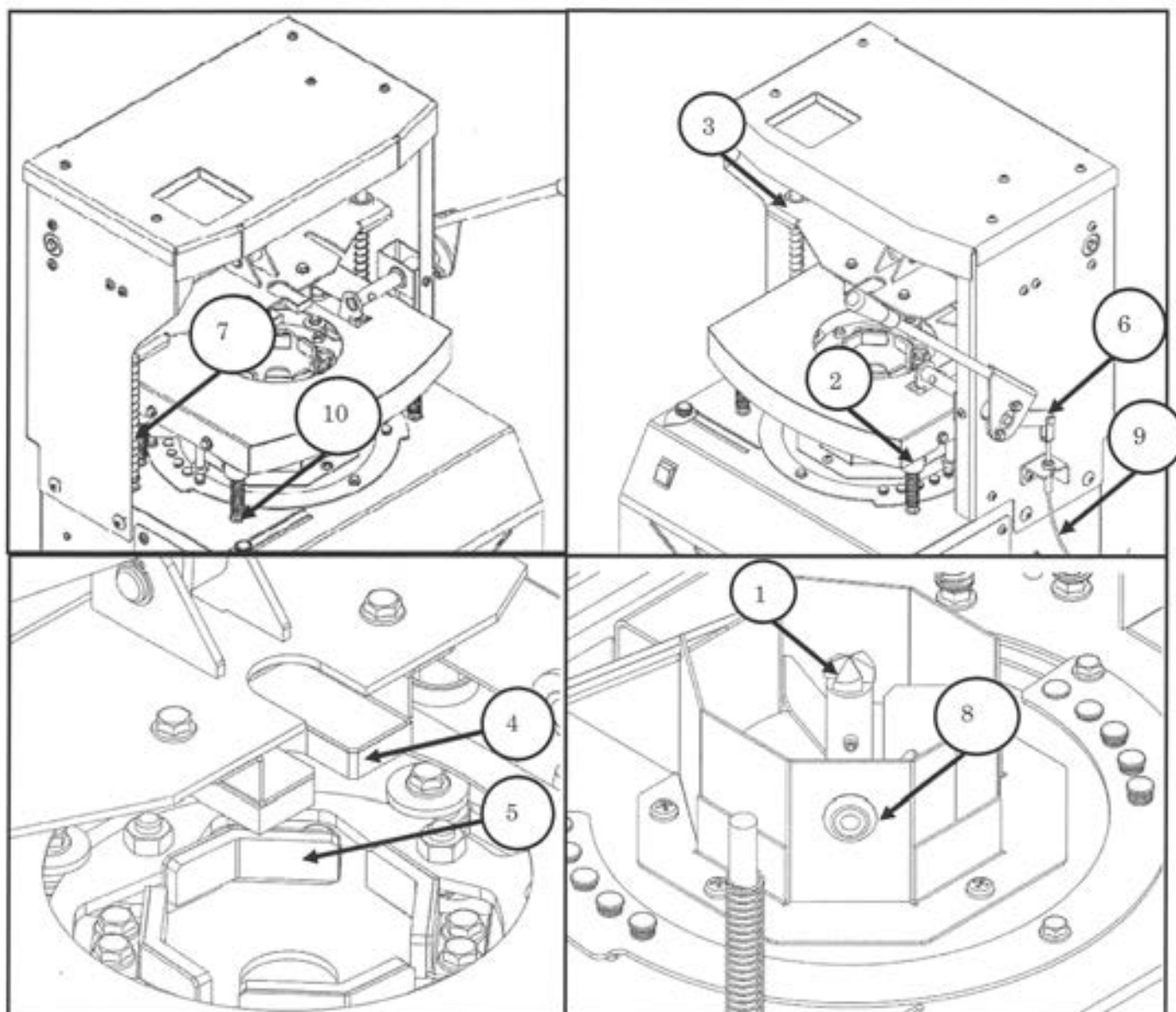
- ・研磨を数回行った際はこの作業を実施してください。
- ・研磨した際の刃物の状態によっては、+1mm では足りない場合があります。その際は、+2mm に変更してください。

⚠ 注意

研磨後は、必ず削れ具合の確認をしてください。
確認を怠ると、ニンニクにキズを付けてしまう可能性があります。

消耗部品について

下記、部品は消耗状況をご確認ください。定期的な交換が必要となります。



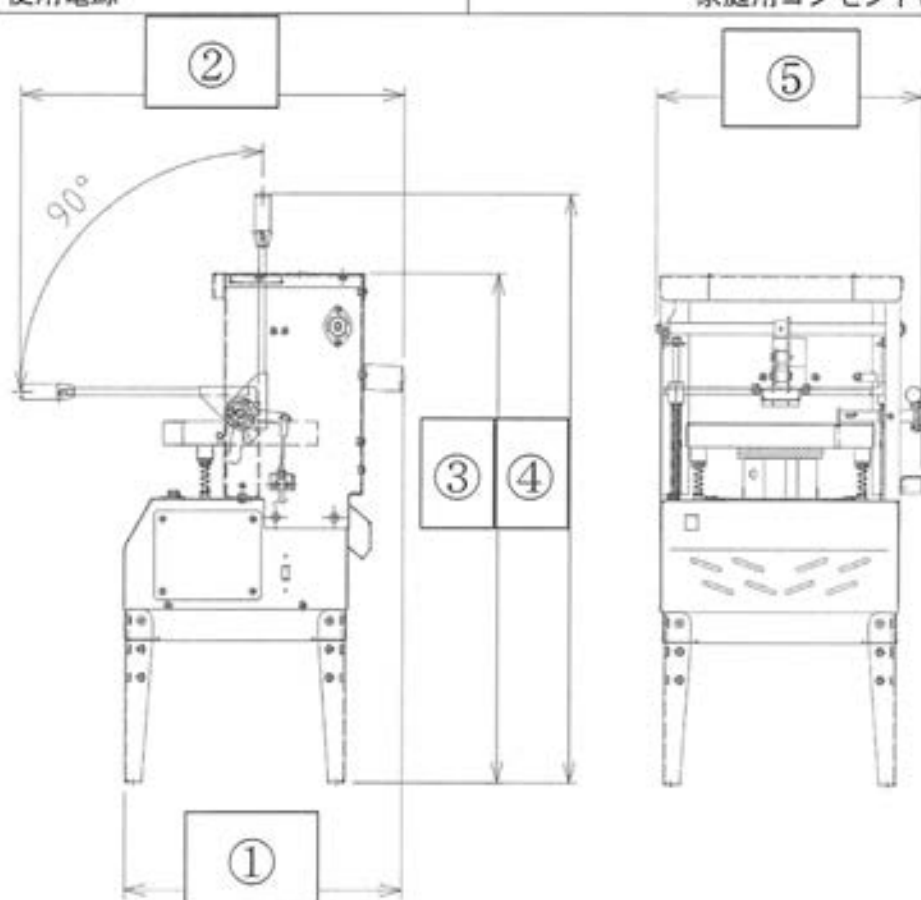
No.	品番	品名	個数/ 台	備考
1	U5A1119000	ドリル	2	
2	U5A1345000	スライドベアリング(LM10UU)	4	
3	U411723000	スライドベアリング(LM12UU)	2	
4	U5A1312000	スポンジゴム	1	
5	U5A1318000	スポンジオサエ	4	
6	0204206021	Rピン	3	
7	U5A1337000	圧縮バネ	2	
8	U5A1141000	グロメット(マツキ)	1	
9	U5A1344000	ワイヤー(オサエ)	1	
10	U5A1229000	圧縮バネ	4	

故障の原因と処置

	症 状	原 因	対 処 法
作業前	電源が入らない	電源プラグの差し込みが甘い	再度差し込んで下さい
		主電源用ブレーカが OFF	主電源用ブレーカを ON にして下さい
		サーマルリセットが働いている	3分ほど待って電源を ON にして下さい それでも電源が入らない場合、 販売店にご連絡ください。
	LED ライトが点かない	配線が抜けている。	抜けている配線を接続して下さい。
		破損している。	販売店にご連絡ください。
作業時	根が除去できない	刃物(ドリル)が摩耗している	主電源用ブレーカを OFF にし、 刃物(ドリル)を交換してください。
		根すり深さが適正ではない	(参考値) ・2S~S 1~2mmの深さ ・M~L 2~4mmの深さ ・2L 2~5mmの深さ
		押え用プレートが上手く機能していない。	ゴミ等が可動部に挟まっている可能性 があります。 清掃してゴミを取り除いてください。 プレートを閉じるためのバネが破損 または伸びている可能性があります。 販売店にご連絡下さい。
		上押えがレバーと連動していない。	レバー部にワイヤーが正常に組付けら れているか、確認して下さい。
	異音がる モータが熱い。	ダクトにゴミが詰まっている	ダクト部に切削した根等が詰まってい る可能性があります。 主電源用ブレーカを OFF にし、 電源プラグをコンセントから抜いてく ださい。 その後、刃物交換用の穴からエア等 を入れ、ゴミを除去してください。 エアが無い場合は、本体を傾けダク ト内のゴミを取り除いてください。
	レバーが急に 重くなった。	スライドベアリングにゴミ等 が詰まっている。	各スライドベアリング部にオイルスプ レー等を使用し、注油してください。 それでも、改善させなかった場合は、 販売店へご相談ください。
シャフトを押さえている ナットが緩んでいる。		シャフトを押さえているナットを締め 直してください。それでも改善させな い場合、販売店へご相談ください。	

主要諸元

名称	ガーリックトリマー	
型式	GN600	
① 全長 (mm) ※レバーを含まない	493	
② 全長 (mm) ※レバーを含む	680	
③ 全高 (mm) ※レバーを含まない		
1. スタンド穴 中央時	1.	850
2. スタンド穴 上時	2.	900
3. スタンド穴 下時	3.	800
④ 全高 (mm) ※レバーを含む		
1. スタンド穴 中央時	1.	993
2. スタンド穴 上時	2.	1043
3. スタンド穴 下時	3.	943
⑤ 全巾 ※レバーを含む	473	
重量 (Kg)	41	
使用電源	家庭用コンセント電源 100V	



諸元は改良のため予告なく変更する事があります。ご了承ください。

標準付属品

品名	個数	備考
スタンド	4	
小型押え	1	2S~Sサイズ用
刃物(ドリル)	1	本体に1本組付け済
マグネット	1	刃物取り外し用
T字六角棒レンチ	1	刃物取り外し用
レバー	1	
ワイヤーブラケット	1	
M6 フランジボルト	2	M6x16-7T
M6 トラスコネジ	2	M6x12
M8 トラスコネジ	8	M8x16
取扱説明書	1	
保証書セット	1	

購入日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

型式 _____

シリアル番号 _____



株式会社

ホームページ <http://www.sasaki-corp.co.jp>

ササキコーポレーション

本社・工場 / 〒034-8618	青森県十和田市大字三本木字里ノ沢1-259	TEL 0176-22-3111 FAX 0176-22-8607
製品窓口 / 〒034-8618	青森県十和田市大字三本木字里ノ沢1-259	TEL 0176-22-0170 FAX 0176-25-3127
部品窓口 / 〒034-8618	青森県十和田市大字三本木字里ノ沢1-259	TEL 0176-25-3170 FAX 0176-25-3171
北東北営業所 / 〒034-0001	青森県十和田市大字三本木字里ノ沢1-75	TEL 0176-23-0354 FAX 0176-23-9655
仙台営業所 / 〒989-1631	宮城県柴田郡柴田町東船迫2-4-11	TEL 0224-58-7780 FAX 0224-58-7782
関東営業所 / 〒329-0201	栃木県小山市栗宮1241-9	TEL 0285-45-8911 FAX 0285-45-8910
新潟営業所 / 〒954-0051	新潟県見附市本所1丁目14番17号	TEL 0258-61-1810 FAX 0258-62-3160
岡山営業所 / 〒702-8002	岡山県岡山市中区桑野110-2	TEL 086-274-9508 FAX 086-274-9510